

II 教科の問題に関する結果

1 小学校

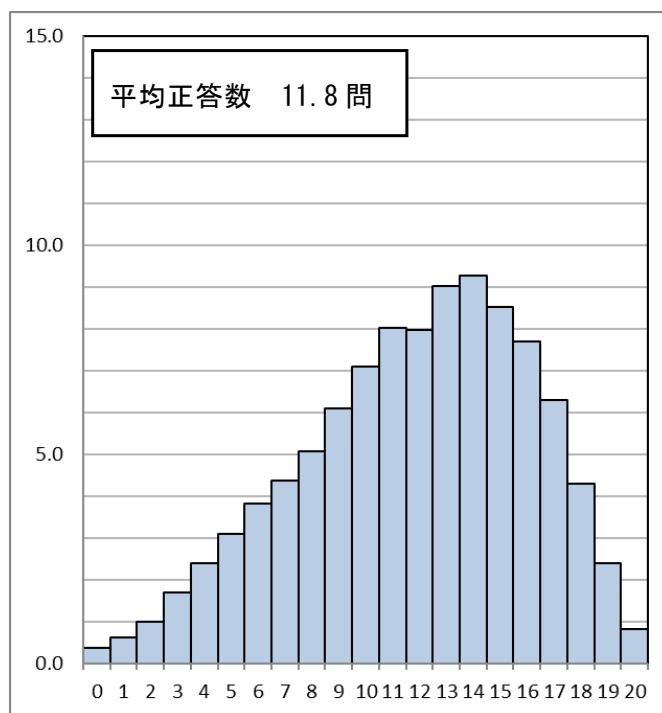
(1) 国語

【第4学年】

実施児童数	10,839 人
設問数	20 問
平均正答率	59.1 %

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	49.4
	書くこと	4	57.3
	読むこと	3	54.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	64.2
評価の観点	話す・聞く能力	3	49.4
	書く能力	4	57.3
	読む能力	3	54.2
	言語についての知識・理解・技能	10	64.2
問題形式	選択式	9	68.8
	短答式	8	59.9
	記述式	3	27.8

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))

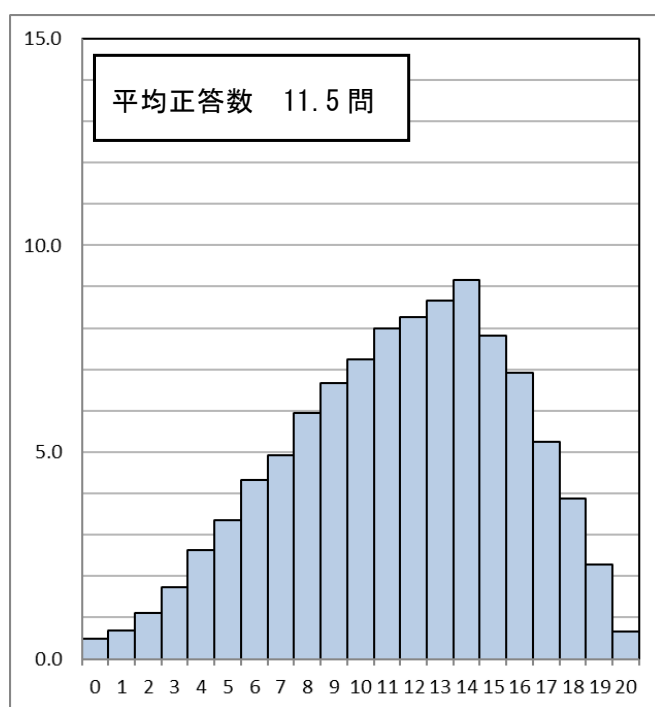


【第5学年】

実施児童数	10,844 人
設問数	20 問
平均正答率	57.4 %

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	48.0
	書くこと	3	62.4
	読むこと	3	55.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	11	59.0
評価の観点	話す・聞く能力	3	48.0
	書く能力	3	62.4
	読む能力	3	55.6
	言語についての知識・理解・技能	11	59.0
問題形式	選択式	12	59.2
	短答式	5	67.4
	記述式	3	33.3

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))

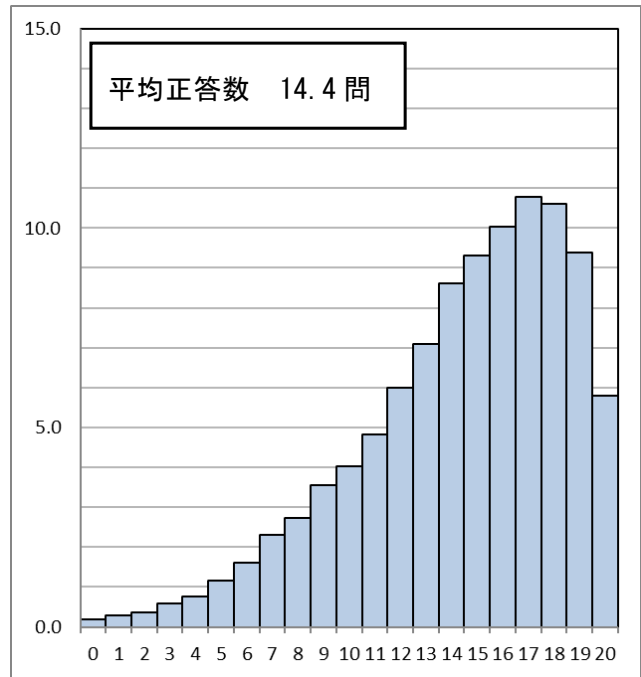


【第6学年】

実施児童数	11,058 人
設問数	20 問
平均正答率	71.9 %

正答数分布グラフ（横軸:正答数〔問〕、縦軸:割合〔%〕）

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	62.0
	書くこと	5	74.0
	読むこと	3	65.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	76.3
評価の観点	話す・聞く能力	3	62.0
	書く能力	5	74.0
	読む能力	3	65.0
	言語についての知識・理解・技能	9	76.3
問題形式	選択式	12	75.8
	短答式	5	75.9
	記述式	3	49.7



【結果から見られる成果と課題】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく使うことについて、相当数の児童ができています。
 - ・「覚ます（さます）」（小5¹一4：94.5%）
 - ・「快適（かいてき）」（小6²四1：96.1%）

- ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることについて、相当数の児童ができています。
 - ・「さるも木から落ちる」ということわざの使い方の例として適切なものを選ぶ（小4¹三：83.1%）
 - ・「七転び八起き」ということわざの使い方の例として適切なものを選ぶ（小6⁴四：82.6%）

- 目的や意図に応じて自分の考えをまとめて書くことについて、課題が見られる。
 - ・【図書だより】に書かれている言葉を使って書く（小4²六：18.0%）
 - ・【調査の内容と結果】の中から言葉や文を取り上げて書く（小5²三：48.5%）
 - ・【調査の内容と結果】二つの段落の両方から言葉や文を取り上げて書く（小6²三：51.4%）

H31小6 全国調査（県平均）33.5% 「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」

- 目的や意図に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくむことについて、課題が見られる。
 - ・資料の中から言葉や文を取り上げて、書かれている内容をまとめる（小4³三：23.9%、小5³一：27.9%）
 - ・疑問に思ったことの答えになる内容として適切なものを選ぶ（小6³一：48.1%）

H31小6 全国調査（県平均）45.1% 「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくむ」

- 文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことについて、課題が見られる。
 - ・「そこで」を使って、一文を二文に分けること（小4²五：19.4%、小5¹七：26.1%）

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

国語 成果や改善傾向の見られる問題例 【小学校4・5・6年生】

(小学校6年生) **4**四

○ ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることに成果が見られる。

4 四 山下さんは、【インタビューの様子】の中の「七転び八起き」ということわざの意味を調べて、ノートにまとめています。次の【ノートの一部】の に入る例として最も適切なものを、あとのアからエまでの中から一つ選んで、記号で書きましょう。

- 意味 ①何度失敗しても、あきらめずに立ちあがってちよう戦すること。
 ②人生のうきしずみがはげしいこと。

○使い方の例

- ア 山田さんと田中さんは、いつも仲がよくて、気が合う仲間だね。七転び八起きだね。
イ 同じ作品でも、見る人によって受け取り方はいろいろあるね。七転び八起きだね。
ウ もうすぐ卒業式だね。あっという間に、月日がたったように思うよ。七転び八起きだよ。
エ 運動会のダンスはなかなかうまくいかないけれど、がんばろう。七転び八起きだよ。

【正答】エ

正答率：82.6%

国語 課題の見られる問題例 【小学校4・5・6年生】

(小学校4年生) **2**五

● 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことについて、課題が見られる。

林さんは、読み手に伝わりやすくするために、【図書室だより】の の文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には、「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで、」に続く五文字を書きましょう。

本を借りることが少なくなった理由の中に、「どんな本を読めばよいか分からない」という回答があったので、たくさんの本を読んでいる田中さんと古田さんに本の選び方について聞いてみました。

【正答】 ありました（。そこで、）たくさん

正答率：19.4%

(小学校5年生) ③一

- 目的や意図に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題が見られる。

【ノートの一部】の に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

【ノートの一部】

① 山口県でパンが作られるようになったのは、

〈条件〉

- ぎ問に思ったことの①の答えになるように書くこと。
- 資料から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 三十字以上、五十字以内にまとめて書くこと。

【正答例】

江戸時代の終わりごろ、戦争のためほぞんができて持ち運べるような兵隊用の食べ物が必要だったため。

正答率：27.9%

(小学校6年生) ③一

- 目的や意図に応じて、文章の内容を的確に自分の考えの理由を明確にしながら読むことに課題が見られる。

【ノートの一部】の には、疑問に思ったことの①の答えになる内容が入ります。その内容として最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選んで、記号で書きましょう。

【ノートの一部】

① にぼしの出汁には、 という特ちょうがある。

- ア あっさりしていてどんな食材とも合い、味を引き立てる。
- イ かおり豊かで、野菜料理によく合う
- ウ 風味が強く、出汁をとった後の食材も食べられる
- エ のうこうで豊かな味わいがあり、野菜料理やみそと相しょうがよい

【正答】 エ

正答率：48.1%

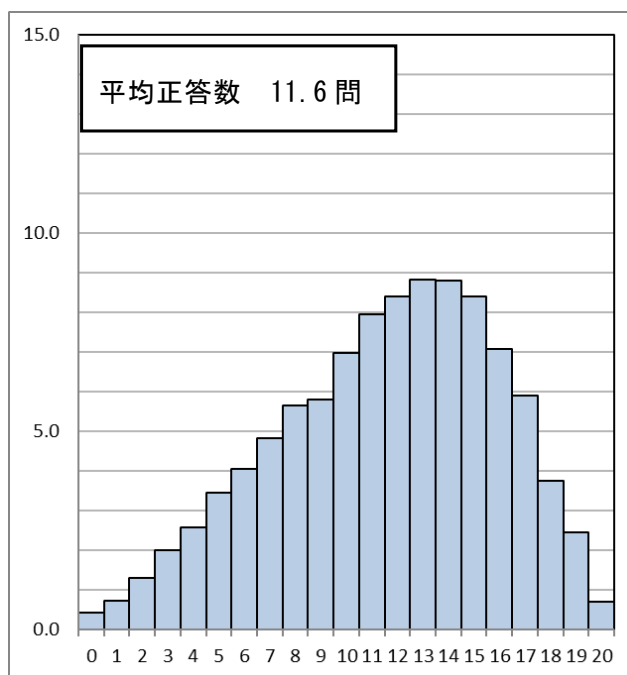
(2) 算数

【第4学年】

実施児童数	10,794 人
設問数	20 問
平均正答率	57.8 %

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の領域	数と計算	7	72.8
	量と測定	4	51.2
	図形	3	52.5
	数量関係	6	47.4
評価の観点	数学的な考え方	5	38.6
	数量や図形についての技能	9	73.8
	数量や図形についての知識・理解	6	49.7
問題形式	選択式	3	66.8
	短答式	14	59.7
	記述式	3	48.1

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))

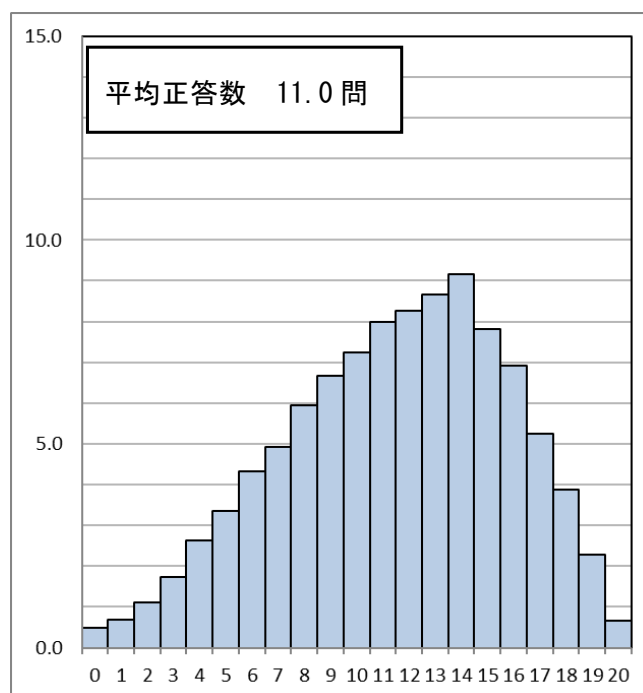


【第5学年】

実施児童数	10,757 人
設問数	20 問
平均正答率	55.1 %

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の領域	数と計算	9	56.9
	量と測定	5	57.7
	図形	2	30.5
	数量関係	4	52.4
評価の観点	数学的な考え方	4	43.0
	数量や図形についての技能	10	61.1
	数量や図形についての知識・理解	6	53.2
問題形式	選択式	6	49.8
	短答式	11	62.1
	記述式	3	40.0

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))

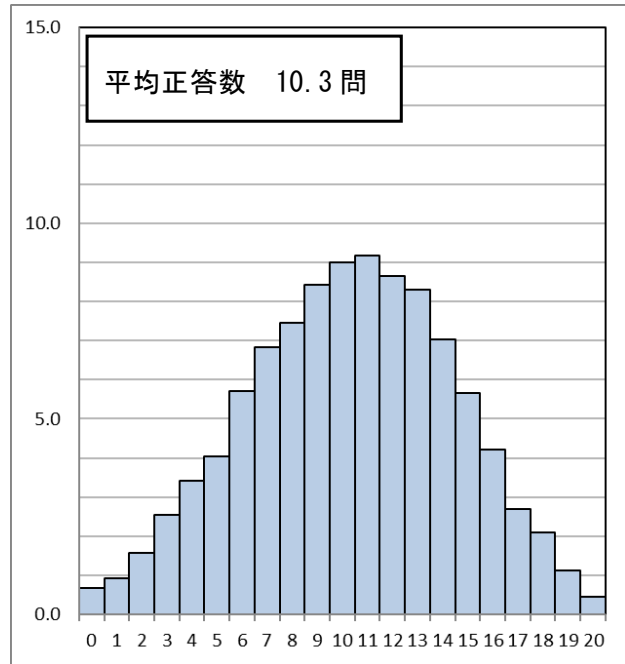


【第6学年】

実施児童数	11,029 人
設問数	20 問
平均正答率	51.5 %

正答数分布グラフ（横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%)）

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の領域	数と計算	7	64.6
	量と測定	1	27.6
	図形	4	39.9
	数量関係	8	48.9
評価の観点	数学的な考え方	8	51.7
	数量や図形についての技能	7	59.2
	数量や図形についての知識・理解	5	43.9
問題形式	選択式	6	59.8
	短答式	11	47.4
	記述式	3	49.4



【結果から見られる成果と課題】

- 基本的な四則計算の技能や数の仕組みを理解すること成果が見られる。
 - ・ 繰り下がりのある3位数と3位数の減法の計算をすること (小4 $\boxed{1}$ (1) : 83.0%)
 - ・ 整数と小数の加法の計算をすること (小4 $\boxed{1}$ (4) : 83.3%)
 - ・ 同分母分数の減法の計算をすること (小4 $\boxed{1}$ (5) : 91.2%)
 - ・ 異分母の分数の加法の計算をすること (小6 $\boxed{1}$ (2) : 81.3%)

- 数量関係を捉えることに成果が見られる。
 - ・ 数量の変化に着目して、表にまとめること (小6 $\boxed{8}$ (1) : 84.6%)

- 分数の意味を理解することに課題が見られる。
 - ・ 仮分数の大きさを単位分数のいくつ分で表すこと (小4 $\boxed{3}$ (2) : 32.9%)

- 割合の内容を理解することに課題が見られる。
 - ・ 基準量と割合を基にして比較量を求めること (小5 $\boxed{6}$: 36.3%)
 - ・ 1に当たる大きさを求める問題場面では、除法を用いることを理解していること
(小6 $\boxed{5}$ (2) : 35.1%)
 - ・ 比較量とその割合から、基準量を求めること (小6 $\boxed{9}$ (2) : 16.1%)
 - ・ 必要な数値を抽出して、値段の差がA店の値段の10%にあたることを式で表すこと
(小6 $\boxed{11}$: 6.4%)

- 問題場面について情報を整理し、理由や方法等を説明することに課題が見られる。
 - ・ 表を読み取り、ドッジボールが一番人気とはいえない理由を説明すること
(小4 $\boxed{9}$ (2) : 26.6%)
 - ・ 一直線が180度であることを使って角の大きさを求める方法を、筋道を立てて説明すること (小5 $\boxed{7}$ (2) : 30.9%)
 - ・ 三角形の2つの辺の長さが円の半径であることを基に、二等辺三角形ができる理由を記述すること (小6 10(1) : 17.4%)

- 式の意味を理解することに課題が見られる。
 - ・ 除法の性質を用いて示された式の意味を理解すること (小5 $\boxed{3}$ (1) : 29.6%)
H31小6 全国調査 (県平均) 47.4% 「示された除法の式の意味を理解している」

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

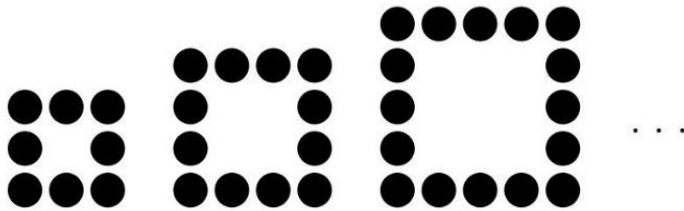
算数 成果や改善傾向の見られる問題例

【小学校4・5・6年生】

(小学校6年生) ⑧ (1)

○ 数量の変化に着目して、その様子を表にまとめることに成果が見られる。

次に、かすみさんは、下の図のように四角形を並べたとき、●の数が、どのように変わっていくかを調べることにしました。



一辺の●の数 (個)	3	4	5	6	7	
必要な●の数 (個)						

【正答】

一辺の●の数 (個)	3	4	5	6	7	
必要な●の数 (個)	8	12	16	20	24	

上の表にあてはまる数を書きましょう。

正答率：84.6%

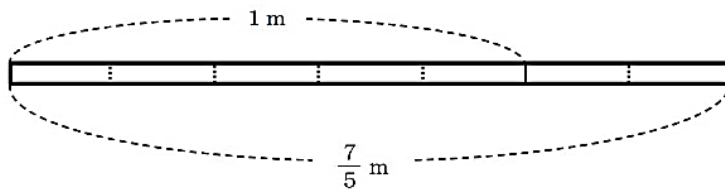
算数 課題の見られる問題例

【小学校4・5・6年生】

(小学校4年生) ③ (2)

● 分数の意味を理解することに課題が見られる。

(2) 下のテープの長さは、 $\frac{7}{5}$ mです。 $\frac{7}{5}$ mは、何mの7つ分の長さですか。分数で答えましょう。



$\frac{7}{5}$ mは ③ m の7つ分

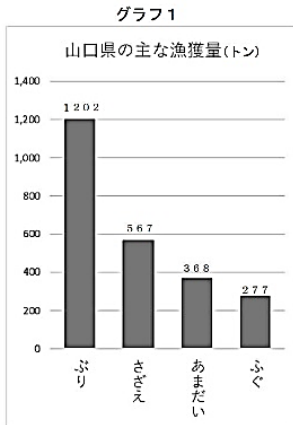
【正答】 $\frac{1}{5}$

正答率：32.9%

(小学校6年生) 9 (2)

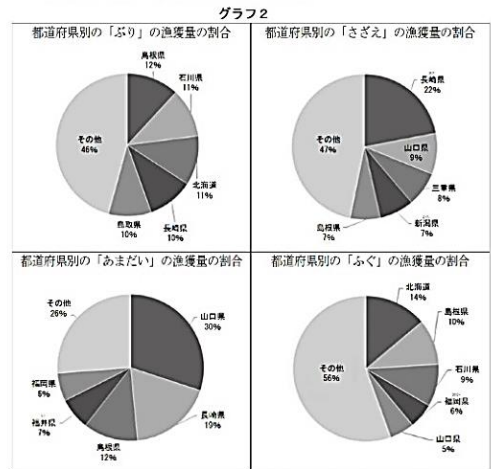
● 割合の内容を理解することに課題が見られる。

9 あきらさんは、山口県でとれる魚や貝などの漁獲量について調べました。



下関市の市章

あきらさんたちは、日本でとれる魚や貝などの都道府県別漁獲量の百分率を、新たに調べて、グラフ2に表しました。



グラフ1とグラフ2から、日本全体の「ふぐ」の漁獲量はおよそ何トンになりますか。式と答えを書きましょう。

【正答】 $277 \div 0.05 = 5540$
(答) 5540トン

正答率：16.1%

(小学校6年生) 11

● 必要な数値を抽出して、値段の差がA店の値段の10%にあたることを式で表すことに課題が見られる。

そうたさんは、オレンジジュースを買いにきました。A店とB店で売っているオレンジジュースの値段を見ると、次の表のとおりでした。

A店	B店
140円	126円

B店のオレンジジュースの値段は、A店のオレンジジュースの値段より14円安いです。このことから、そうたさんは次のことに気づきました。

A店とB店のオレンジジュースの値段の差は、A店のオレンジジュースの値段の10%にあたるね。



A店とB店のオレンジジュースの値段の差が、A店のオレンジジュースの値段の10%にあたることを求める式を書きましょう。

【正答例】 $14 \div 140 \times 100 = 10$

正答率：6.4%

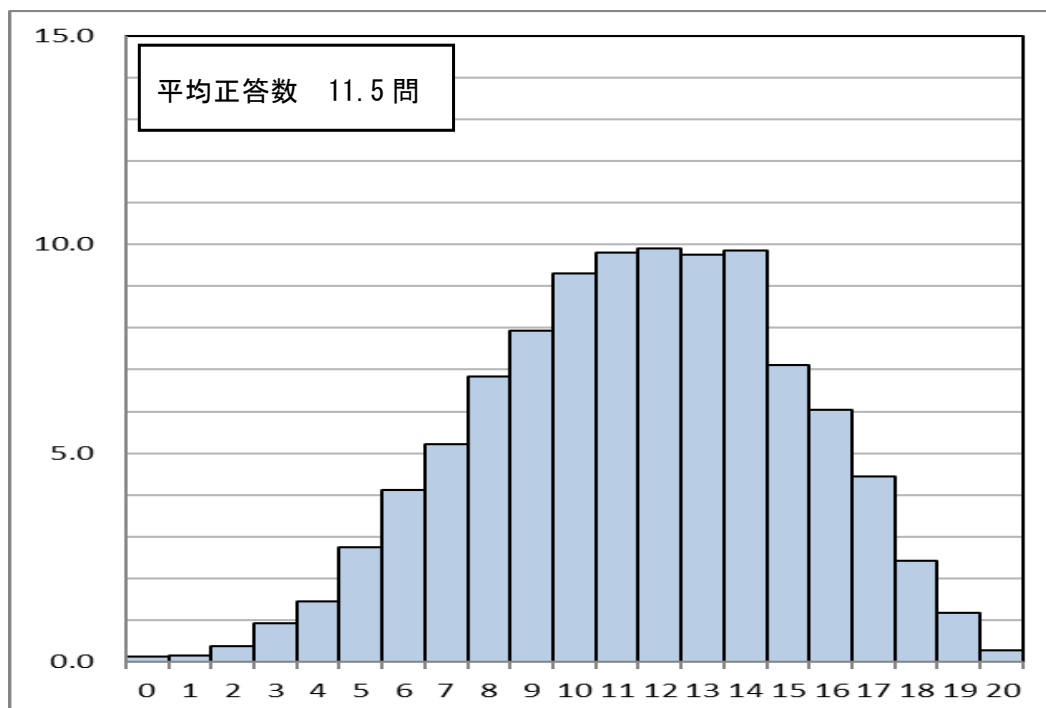
(3) 社会

【第5学年】

実施児童数	10,847 人
設問数	20 問
平均正答率	57.3 %

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の領域	身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子	3	70.3
	地域の生産や販売に携わっている人々の働き	1	97.1
	地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動	3	55.8
	地域の人々の安全を守るための諸活動	0	
	地域の古い道具、文化財や年中行事、地域の発展に尽くした先人の具体的事例	4	60.2
	県の地形や産業、県内の特色ある地域	2	64.7
	我が国の国土の様子と国民生活との関連	5	40.2
	我が国の農業や水産業（食料生産）の様子と国民生活との関連	2	49.3
評価の観点	社会的な思考・判断・表現	5	47.1
	資料活用 of 技能	6	68.1
	社会的事象についての知識・理解	9	55.6
問題形式	選択式	12	67.3
	短答式	4	38.7
	記述式	4	45.7

正答数分布グラフ（横軸:正答数[問]、縦軸:割合[%]）



【結果から見られる成果と課題】

- 地図の基本的な約束事に関しては、知識・理解の定着が見られる。
 - ・ 地図記号が表している施設を理解すること (1)81.9%
- 生活に身近な内容については、知識の定着が見られる。
 - ・ スーパーマーケットの工夫について理解すること (2)97.1%
 - ・ 昔の人々の使っていた道具を理解すること (3)98.5%
- グラフから必要な情報を読み取る技能の定着に一定の成果が見られる。
 - ・ グラフから山口県ではリサイクルが盛んに行われていることを読み取ること (4)85.2%
- 地図の読み方に関する用語の定着に課題が見られる。
 - ・ 等高線の名称を理解すること (5)6.9%
- 主な国の名称や位置、国旗に関する知識の定着に課題が見られる。
 - ・ 日本と関わりのある国の名称や位置、国旗を理解すること (7)36.6%
- 資料から必要な情報を読み取り、それらの情報をもとに、条件に合わせて説明することに、引き続き課題が見られる。
 - ・ 日本の北方領土について理解すること。 (8)22.5%
 - ・ 気温の特徴をもとに地域を判断し、南西諸島の気候の特徴について説明すること (8)29.3%

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

社会 成果や改善傾向の見られる問題例

【小学校5年生】

○ 昔の人々の使っていた道具を理解することに成果が見られる。

3 次の1から3は、せんたくをする道具とその説明です。あとの問題に答えましょう。

(1) 道具はどの順で変化してきたでしょう。1から3を古い順にならべ、[]に番号を書きましょう。



古い順に [] → [] → []

1
せんたくから、だっ水まで自動で行うことができる。

2
よごれをたしかめながら、ごしごとあらうので、水をむだにせずあらうことができる。

3
ローラーの間にせんたく物をはさんで、しぼることができる。

【正答】古い順に [2] → [3] → [1]

正答率：98.5%

社会 課題の見られる問題例

【小学校5年生】

● 地図の読み方に関する用語の定着に課題が見られる。

5 あかねさんたちは、一週間前に遠足で登った「あさひ山」について、地図を見ながら話し合っています。

【話し合いの様子】をよんで、あとの問題に答えましょう。

地図 「あさひ山」の土地の高さの様子



【話し合いの様子】

あかね この前の遠足は楽しかったね。わたしたちが登った「あさひ山」について、学習してみよう。

たける 地図は「あさひ山」の土地の高さの様子をあらわしているね。地図には、同じ高さのところを線でむすんだ(ア)という線がしめしてあるね。

けんじ この線を見ると、どのくらいの高さの土地なのか、すぐにわかるようになっているね。

しおり それだけじゃないよ。(ア)の間かくの広さを見ることで、土地のかたむきについても読み取ることができたよね。

あかね そうだったね。だから、わたしたちが登った「あさひ山」についてわかることは、(イ)ということになるね。

(1) (ア)に入る言葉を答えましょう。

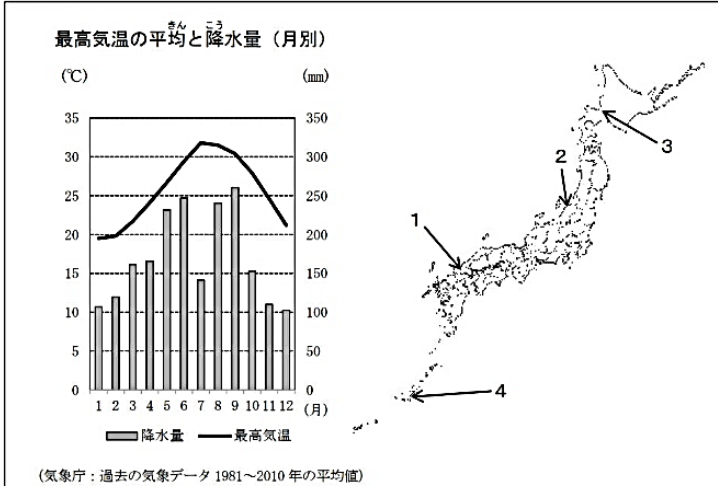
【正答】等高線

正答率：6.9%

- 資料から必要な情報を読み取り、それらの情報をもとに、条件に合わせて説明することに、引き続き課題が見られる。

8(3) 【ひなこさんのノート2】の最高気温の平均と降水量(月別)は、どの都市の気候だと考えられますか。<メモ>の(ア)にあてはまるように、地図の1から4の中から一つ選んで、その記号を書きましょう。また、<メモ>の(イ)にあてはまる理由を、気温に注目して説明しましょう。

【ひなこさんのノート2】



(気象庁：過去の気象データ 1981～2010年の平均値)

<メモ>

月別の最高気温の平均と降水量のグラフから、地図の(ア)の都市の気候だと思う。

その理由は、(イ)です。

【正答例】(完答)

ア 4

イ 最高気温の平均が20°Cをこえて
いる月が多いから。

正答率：29.3%

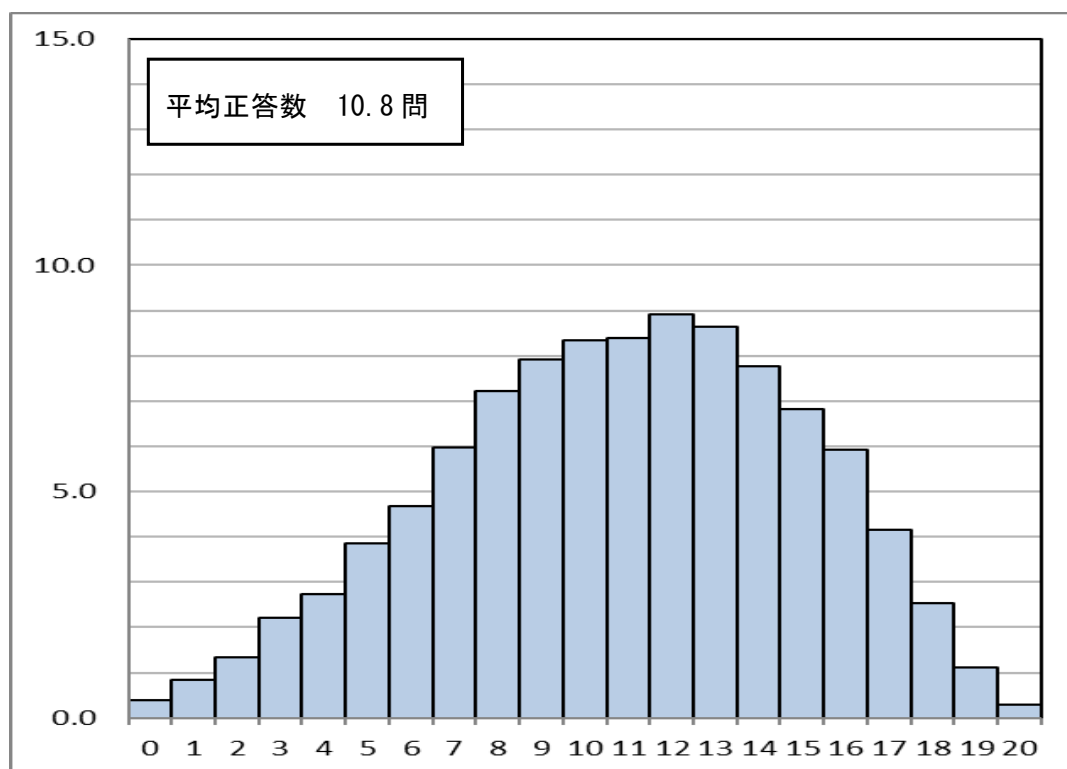
(4) 理科

【第5学年】

実施児童数	10,859 人
設問数	20 問
平均正答率	54.1 %

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の領域	物質	6	65.7
	エネルギー	7	49.3
	生命	4	55.7
	地球	3	40.2
評価の観点	科学的な思考・表現	7	50.4
	観察・実験の技能	2	61.5
	自然事象についての知識・理解	11	55.2
問題形式	選択式	13	54.5
	短答式	4	53.5
	記述式	3	53.6

正答数分布グラフ (横軸:正答数 [問]、縦軸:割合 [%])



【結果から見られる成果と課題】

- 物の重さについて、物の形や物自体の増減とを関連付けて理解している。
 - ・ブロックの並べ方を変えても、重さは変わらないことを理解している。
(2)(1) 85.2%

- 日当たりについて、太陽の見た目の位置や陰のでき方とを関連付けて考えることができる。
 - ・乾物を作るために、家のどの向きのベランダに食品を置けばよいのかを、考えることができる。(3)(1) 57.6%
 - H29小5 学力定着状況確認問題39.6%
 - 「太陽の動きと方位を日当たりと関連付けて植物が生長する場所を選択すること」

- 星や星座の見た目の位置の変化について、推測することができる。
 - ・北の空の観察で、時間の経過によって星や星座の見た目の位置がどのように変化するかを推測すること (4)(2) 18.7%

- 飛行機が飛ぶ距離について、一つの実験方法とは別の方法を考えることができる。
 - ・飛行機をより遠くに飛ばすための方法について、輪ゴムを長く引っ張る以外の方法の妥当性を検討すること (1)(1) 19.6%

- 回路について、スイッチのつなぎ方により働きに変化が生じることを理解し、説明することができる。
 - ・扇風機の風量を強くするために、直列つなぎを選び、その理由を説明すること (5)(3) 30.1%

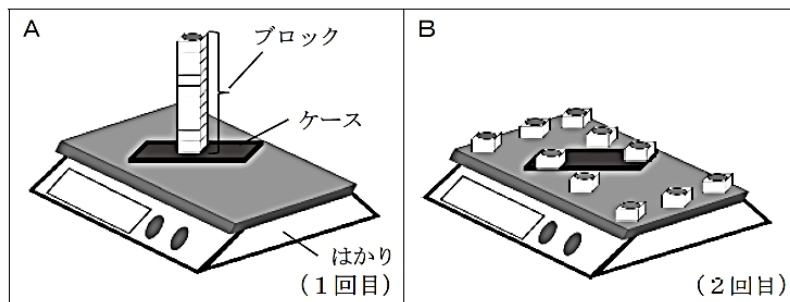
正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

理科 成果や改善傾向の見られる問題例 【小学校5年生】

○ 物の重さについて、物の形や物自体の増減とを関連付けて理解することに成果が見られる。

2 (1) 太ろうさんは、ブロック 10 個とケースを、1 回目は次の A のように、2 回目は次の B のように、ちがう置き方をしてはかりに乗せました。実験の結果を適切に説明している文を、下のアからウの中から一つ選んで、記号で答えましょう。



【正答】 ウ

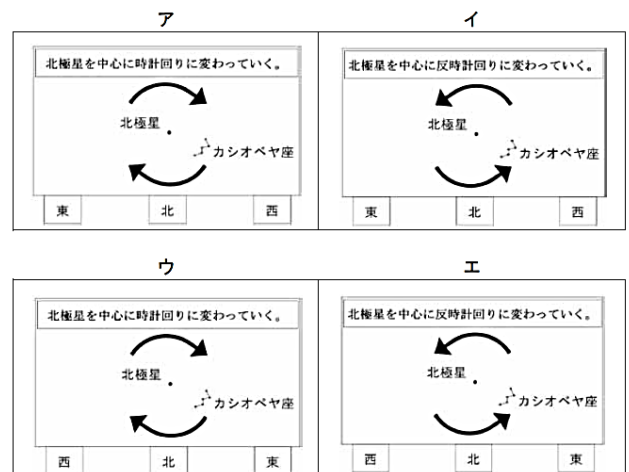
正答率：85.2%

理科 課題の見られる問題例 【小学校5年生】

● 星や星座の見た目の位置の変化について推察することに課題が見られる。

4 (2) 太ろうさんは、8月8日に月や太陽、星の観察を行いました。

午後8時から30分ごとに3回、北の星空を観察しました。北の空の星や星座の見た目の位置を表した図のうち、正しいものを、次のアからエの中から一つ選んで、記号で答えましょう。





【正答】 エ


正答率：18.7%

- 飛行機が飛ぶ距離について、一つの実験方法とは別の方法を考えることに課題が見られる。

1 (1) 太郎さんは、10 cmしかゴムを引っ張らずに、今よりも遠くまで飛行機を飛ばす方法はないかと考えました。どんな方法が考えられるか、次のアからウの中から、ふさわしいものをすべて選んで、記号で答えましょう。

ア  (最初に使ったゴムをつなげる)

イ  (最初に使ったゴムを二重に重ねる)

ウ  (最初に使ったゴムより太いゴムを使う)

【正答】イ、ウ

正答率：19.6%